

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	IgA腎症における上咽頭炎とトーンワルト病の検討			
2. 対象患者	以下の期間において腎生検にてIgA腎症と診断され、かつ福島耳鼻科にて上咽頭炎とトーンワルト病について精査されたことのある方を対象とします。			
3. 対象となる期間	2000年 1月 1日      ~      2019年 12月 31日			
4. 実施診療科等	腎臓内科			
5. 研究責任者	氏名	藤田 雄	所属	大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	弘前大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科(松原篤) 福島耳鼻科(福島龍之) ESTクリニック(貝塚満明) 弘前中央病院(白戸研一)			
7. 研究の意義	IgA腎症は進行すると腎不全になり透析治療や腎移植が必要となる今なお重要な腎臓病の一つです。IgA腎症を発症する原因は様々であるが、扁桃炎などの慢性的な炎症がその一因と考えられ、本邦においては口蓋扁桃摘出とステロイドの大量点滴であるステロイドパルス治療(以下、扁桃摘パルス)を組み合わせる治療が標準的に行われ、一定の効果を認めています。しかしながら、扁桃摘パルスを行うもIgA腎症が進行する症例が一定数おり、そのような場合に慢性上咽頭炎の治療でIgA腎症が改善することが近年報告されています。また、トーンワルト病に治療を行って同様にIgA腎症が改善した症例も我々は経験しています。 本課題ではIgA腎症と慢性上咽頭炎およびトーンワルト病の合併している患者さんと合併していない患者さんを比較して予後の違いを評価することが第一の目的です。慢性上咽頭炎およびトーンワルト病のある患者さんはその治療を行っていただいておりますので、それがIgA腎症に対しても治療効果があったのかどうかを検討するということです。			
8. 研究の目的	IgA 腎症患者において慢性上咽頭炎およびトーンワルト病を合併する群としない群の IgA 腎症の予後を後ろ向きに比較検討する			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合があります)	IgA腎症と診断され治療を受けていた患者さんで、かつ福島耳鼻科にて上咽頭炎とトーンワルト病の検査・治療をされた方に関して、診療録情報、採血・尿検査結果、および耳鼻科での内視鏡検査や診療録の情報の収集を行います。新たに身体的、時間的、経済的にご負担をおかけするものではありません。			
10. 個人情報の保護	データは匿名化(氏名等を削除し、この研究のための識別符号を付与)して研究責任者および一部の関係者以外アクセスできないパソコン中に保管・管理します。			
11. 利益相反に関する状況	本研究を実施するにあたり開示すべき利益相反はありません。			
12. 連絡先	腎臓内科 藤田 雄			
	電話	0172-39-5057	FAX	0172-35-9190